

2018年9月1日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第81回 北海道とバイオミメティクスを考える その5 花、美、武士道とバイオミメティクス

北海道から青年たちは旅立った、 武士道とキリスト教と自然探求

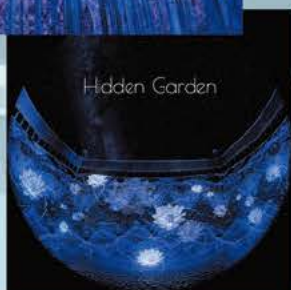
一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会

高橋 大作

新渡戸稲造は日本の近代で
かつあらゆる分野で
国の内外を問わず
最も激動の時代に
生きた人物です。

しかし
騒がしいこの世からの視点とは
別の高い視点から人間社会を
見つめていました。
本質を大事にしながらも
現実には柔軟に対処いたしました。

明治27年(1894年)に
現在の札幌市中央区南4条東4丁目に開設され
昭和19年(1944年)まで
50年の長きに亘って
続いた札幌遠友夜学校に
そのエッセンスが表れています。



プラネタリウムなどの
ドームで見られるのは
当然のごとく天文系の映像が主流です。

しかし、ドームをアートや
エンターテインメントの
表現の場として利用することが
近年増えてきました。

ドームで上映した作品の一部を
ご覧いただき、
最近どんなことが
起きているのかをご紹介します。

全天周の美

映像作家

馬場 ふさこ

主催:北海道大学総合博物館
共催:高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
協賛:千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先: TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場:北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」
札幌市北区北10条西8丁目

時間:午後1時30分から午後3時30分